シカ等による森林被害緊急対策事業（拡充）

【令和４年度予算概算決定額　136,168（128,670）千円】

＜対策のポイント＞

シカ被害を効果的に抑制するため、**都道府県による広域的な予防的捕獲の取組を推進**するとともに、**林業関係者によるシカの捕獲効率向上対策**の成果の横展開を図ります。また、効果的なシカ被害対策を実施していく上で特に有効な**ICT等を活用した新たな捕獲技術等の開発・実証を実施**するとともに、国有林野内のシカ被害が深刻な奥地天然林や複数の都府県にまたがる地域において**国土保全のためのシカ捕獲事業を拡充して実施**します。

あわせて、近年顕在化しつつある**ノウサギ食害の深刻化を防ぐ**ため、対策の実証検討を行います。

＜事業目標＞

鳥獣害防止森林区域を設定した市町村のうち、シカ被害発生面積が減少した市町村の割合〔対前年度以上〕

＜事業の内容＞

1．シカ広域捕獲支援事業　　**12,000（－）千円**

○　複数の市町村にまたがる森林域で予防的に実施する**広域捕獲を推進するために、生息調査や捕獲戦術の策定等を支援**します。

2．シカ捕獲効率向上対策事業　　**19,724（18、000）千円**

○　**林業関係者による捕獲効率向上のための捕獲技術の導入成果**について、**ノウハウとしての整理と普及を支援**し、横展開を図ります。

3．ノウサギ被害対策検討事業　　**11,758（11,406）千円**

○　**ノウサギ食害に対する**効果的・効率的な防護や捕獲等の**対策について実証による検討を実施**します。

4．シカ被害対策技術実証事業　　**13,000（20,000）千円**

○　効果的なシカ被害対策を実施していく上で特に有効な**ICT等を活用した新たな捕獲技術等の開発・実証を実施**します。

5．国土保全のためのシカ捕獲事業　　**79,686（79,264）千円**

○　森林の持つ国土保全機能の維持増進を図るため、**国有林野内の奥地天然林や複数の都府県にまたがる地域において広域的かつ効果的なシカ捕獲を実施**します。

＜事業の流れ＞

国 →（定額）→ 都道府県等（１、２の一部、４の事業）

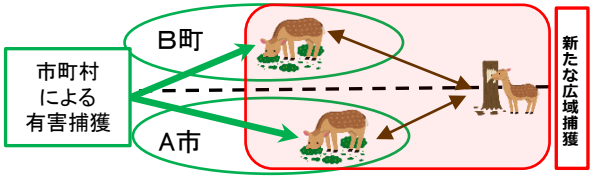
国 →（委託）→ 民間団体等（２の一部及び３の一部の事業）

３の一部、及び５は国有林による直轄事業

＜事業イメージ＞

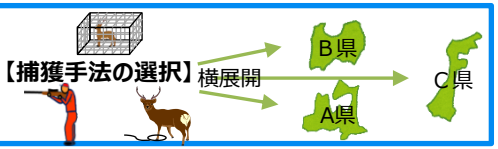
〔シカ広域捕獲支援事業〕

➢ 被害予防のための広域捕獲に必要な、森林被害をもたらす群の特定調査やシカ捕獲の専門家の派遣等に対して支援します。



〔シカ捕獲効率向上対策事業〕

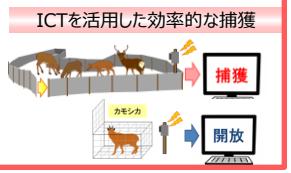
➢ 新技術や狩猟熟練者の“勘どころ”技能の実践・技術導入の成果の横展開を図ります。



〔ノウサギ被害対策検討事業〕　➢ 実証検討により、実践的な対策を提案

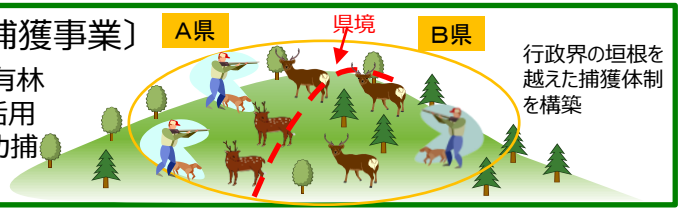
〔シカ被害対策技術実証事業〕

➢ ドローン等によるシカ生息状況の把握や、ICTを活用した効率的な捕獲手法などの新技術の開発・実証を行います。



〔国土保全のためのシカ捕獲事業〕

➢ 複数の都府県にまたがる国有林野で、LPWAネットワークを活用した広域的かつ効果的なシカ捕獲を実施します。



［お問い合わせ先］林野庁研究指導課（03-3502-1063）
林野庁経営企画課（03-6744-2321）